

第6回 大山学講座

これから伝えていきたい「大山」の歴史や自然を学ぶ

第6回大山学講座が2月23日に、中山生活想像館で開かれ、米子市在住の落語家、六代目桂小文吾さんの落語「大山カラス天狗」と、鷺見寛幸教育長の講演「大山の魅力再発見」がありました。

「大山カラス天狗」は、天狗の弟子になりたい男が主人公の落語で、仁王堂公園の天狗像の前で酒を飲みながら天狗を待っていた男と、天狗の軽妙な掛け合いに、笑いながら大山の歴史と伝承を学ぶことができました。

鷺見教育長は、広島県庄原市の「塩



▲「大山カラス天狗」を熱演中の六代目 桂小文吾さん

原の大山供養田植」を写真と動画で紹介されました。この行事は4年に一度開催され、牛のせり、田植踊り、供養行事、代かき、太鼓の音にあわせた田植を行って、牛馬の霊の供養と五穀豊穡・家内安全を祈念するもので、大山信仰の広がりを実感できました。

その他にも、大山に生息するヒメボタルの黄色い光が一面に輝く様子や、100km離れた三瓶山まで伸びる山頂から見た早朝の影大山などを写真で紹介され、大山の自然の美しさを堪能できました。



▲「大山の歴史」を説明する鷺見教育長

交流を深め、活動しよう!

大山町女性団体連絡協議会

2月23日に女性団体連絡協議会が研修会を行い、会場となった保健福祉センターなわに会員約100名が集まり、学習と交流を深めました。

同協議会は、会員同士の交流を深めるため、大山、名和、中山の各地区持ち回りで、毎年研修会やレクリエーション大会などを行っています。

今年も、昨年の台風24号による災害の経験から、防災をテーマに役場の野坂総務課長より、災害に対する備えや対策についての講演、また、

大山診療所朴先生より「大山町の地域医療」について講演をいただきました。

お茶をいただきながらの交流会では、「日本女性会議2018イン金沢」の参加報告を行い、団体をこえた話し合いも活発に行われ、充実した一日となりました。



▲講演前にレクリエーション



▲講演に聞き入る会員のみなさん